

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立福泉中央小学校
校長 西村正樹

中学校区におけるめざす子ども像

豊かな心で人と協力し、将来の夢の実現に向けて努力する子ども

令和7年度 重点目標

本校教育目標「心豊かに 認め合い 高め合う 子どもの育成」 ～子どもが行きたい 親が通わせたい 教師が働きたい学校づくり～
①「チーム力」を生かした学力の向上 ②人権尊重を基盤にした豊かな心の育成 ③健やかでたくましい子の育成 ④「つながる教育」「ひろがる教育」の推進

「確かな学び」の現状

【学びに向かう力・人間性等】人の役に立ちたい、助けたいと考えている児童は9割を超えた。一方、自己肯定感を問う質問項目では否定的な児童が2割を超えた。自己肯定感の向上が大きな課題である。

【知識及び技能】国語科では「情報の扱い方に関する事項」は成果が見られた一方、漢字やローマ字等の習得に課題が見られた。算数科では知識・技能分野に関しては大きな課題が見られており、無回答率も大阪府平均より上回っている。

【思考力・判断力・表現力等】国語科では「書くこと」と「読むこと」は成果がみられたが「話すこと・聞くこと」は課題が見られた。算数科では違いを見つけて自分の考え方を説明する事に大きな課題が見られた。

「豊かな心・健やかな体」の現状

【豊かな心】・人権尊重を基盤にした豊かな心の育成をめざしている中、いじめを絶対に許さない姿勢が浸透している。
・4年生以上で「いのちの学習」を行い、かけがえのない自分の命に気づくとともに自己肯定感の向上をめざしている。

・「は・あ・と」（はきものをそろえる・あいさつを自ら行う・友だちを大切にすること）の定着をめざしている。

【健やかな体】・縄とびカードや委員会活動などを盛んにすることで体育の日常化をめざしている。

・水泳など系統的で児童が熱中できる体育授業づくりをする。

・運動の日常化と体育授業の充実により体力向上をめざす。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況 (年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	学力向上	・情報を集める、まとめる、伝えるふりかえる学習の定着をめざす。 ・興味をもって家庭学習に取り組む姿をめざす。	授業の振り返りを大切に、考える力や書く力、伝える力を育成する。 ●「はがき新聞」や「中央学びんピック」を通じ、児童のやる気と家庭学習の質の向上をめざす。	児童の肯定回答率 90% 優秀作品掲示や金賞銀賞等での表彰。	学校教育アンケート 実践報告	年度末 随時	○ おおむね予定通り進んでいる。 ◎ どちらも定着している様子がうかがえる。	○ 全国学調【知識及び技能】の分野では、全ての項目で全国・大阪府平均を大きく上回っている。特に「はがき新聞」の効果が大きいと考えられる。 ◎	○ 「はがき新聞」は長く続けることで良い効果がみられる。「学びんピック」も子どもたちの成長を感じる。ぜひ継続させていきたい。 ◎
	個別最適で協働的な学び	「学びのコンパス」を参考にしながら個別最適で協働的な学びの実践を行う。	●「子どもが考える授業」から「子どもが自ら学びを進める授業」にむけ【個別最適な学び】と【共同的な学び】をめざす。 ●児童1人1台のタブレットを使用し、系統的なICTの技能習得をめざす。 個別最適で協働的な学びの姿を積極的にHPで公開し紹介するとともに研修を深める。	「学校は授業の工夫を通じて考える力をつけようとしている」85% 系統的なICT活用の指導ができています。 HPで公開をしている。	学校教育アンケート 実施状況 実施状況	年度末 随時 随時	○ 自由進度学習や「学びのコンパス」活用など新たな授業の挑戦がみられた。 △ 授業での活用が不十分 全国学調アンケート(本校16.2% 堺市38.8%) ◎ 日々の実践をHPで公開している。研修にも積極的に取り組んでいる。	○ 【個別最適で共同的な学び】に関しては、今年度、職員研修も活発に行い少しずつ変化が見られる。 △ ICTの活用に関してはクラス間格差が大きい。 ◎	○ タブレットの使い方については子どもたちが慣れて使ってきている。調べる内容なども深いものになってきているように思う。 △ ◎
	豊かな心・健やかな体	・いじめ防止・早期発見」に向けた組織的な取組と、絶対にいじめを許さない集団づくりを行う。 ・違いを認め仲間を大切に「思いやり・心遣い」のできる子どもを育てる。	●子どもの小さな変化を見逃さず、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に努める。SSWなど外部機関とも積極的に連携する。 ★道徳の授業や体験学習を通じて、正しい人権感覚と知識をもって判断・行動できるように豊かな人権感覚を培う。 ★時と場をわきまえて、進んで挨拶をする。 ●「は・あ・と」の徹底。	アンケートを基にした児童理解と継続的な確認。 「学校は思いやりの心や相手の気持ちを理解しようとする態度を育てようとしている」85% 「学校はあいさつや返事をできるように取り組んでいる」85%	学校生活アンケート 学校教育アンケート 学校教育アンケート	随時 年度末 年度末	◎ 「生活アンケート」に加え、「こころの健康観察」も実施し、児童の心に寄り添っている。 ○ おおむね予定通り進んでいる。 ○ おおむね予定通り進んでいる。	◎ 学校アンケート【学校は思いやりの心や相手の気持ちを理解しようとする態度を育てようとしている】80%【学校はあいさつや返事をできるように取り組んでいる】77% ○ 目標の基準にはわずかながら達していない。「は・あ・と」の徹底が必要だと考える。「こころの健康観察」はこどもの機微な心をとらえることができた。 △	◎ 授業や課題の提出で自己肯定感を育むきっかけにしたい。様々な先生等との出会いによって成長してほしい。また、学校・家庭・地域と連携を深めながらいじめ防止等の人権感覚を培うようにしてほしい。 ○ ○ いじめは0にはならないが、方針が組織的に確立していることは安心だ。
つながる教育	心身の向上	・系統的に「いのちの学習」を行い自己肯定感の向上をめざす。 ・健康安全について理解を深め、運動に親しむ環境を整える。	★いのちの授業の継続・充実により自分を大切にしている気持ちを育てる。 体育の活動内容の改善とスポーツテストの実施。運動量を適切に確保する授業や取組の工夫。	命の授業実施後の感想等聞き取り。 「小学校体育指導の手引き」の積極的な活用状況。	実施状況 実施状況	年度末 随時	◎ ゲストティーチャーに依頼し4～6年で「いのちの授業」を実施している。 ○ おおむね予定通り進んでいる。体育委員を中心に新たな取り組みも始まった。	◎ 「いのちの学習」は学校群でも連携をしながら取り組むことができた。 ◎ 体力向上の取り組みは「逃走中」や「なわとび週間」等児童主体の効果的な取り組みができた。	◎ 公共の学習などと結びつけた学習を是非推進してほしい。 ◎
	信頼される学校	・学校群を基にした小中連携、小中連携また、保幼小連携に積極的に取り組み「つながる教育」を推進する。 ・地域全体で子どもの成長を支える「ひろがる教育」を推進する。	★Teamsなどを活用し、小中が密に連携する。お互いの良い物を積極的に取り入れ学校群の教育力向上をはかる。 幅広い地域人材や保護者等の参画と、児童が地域に出ていく等、積極的な交流をめざす。	それぞれの連携が活発に行われている。 各種行事での地域人材参加状況と保護者や地域の方からのご意見等	実施状況 実施状況 学校協議会	随時 随時	◎ 日常的な繋がりから課題解決をめざして ◎ 多くの「ほんもの」との出会いを実施できている。(14件/現在)	◎ 学校群で連携し、課題解決や教育的効果の向上をめざそうとする風土づくりはできたと感じている。(4年生発表交流予定) ◎ 多くのゲストティーチャーから学ぶことができた。	◎ 中学校・こども園との連携が良くなった。今後もより一層その繋がりを強くしていきたい。防災などもゲストティーチャーと勉強してもらいたい。 ◎

校長より (年度末)

今年度は、「本物」をキーワードに多くの外部講師を招き、子どもたちに将来の夢や希望を持てる機会を設定することができた。学力については、今までの取組を継続しながら、より一層、基礎学力の定着、向上につながる授業づくりをすすめたい。地域の中の学校という視点で学校群の活用や幼小中高の連携、SSWの活用などを進めることで子どもの居場所づくりを今後も進めたいと考えている。

学校関係者評価者から (年度末)

いじめの対応に関して、組織的に対応している様子がわかり安心感がある。引き続きお願いしたい。また「はがき新聞」も継続してほしい。